

誰もが共に生き生きと学べるようにしたい！



特別支援研究係  
調査研究  
詳細はwebで

# フェスタ 発表概要

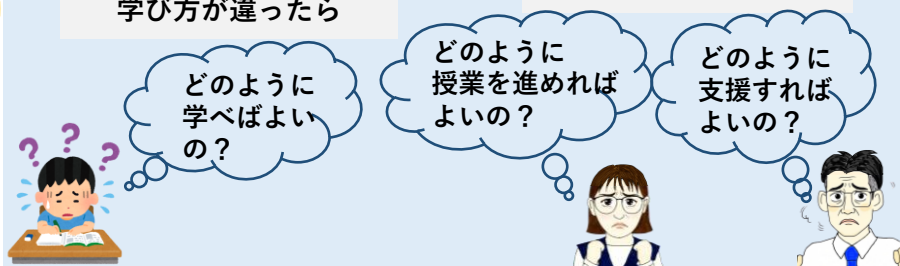
だけど、実際は...

子供

学びの場  
共に学ぶ相手によって  
学び方が違ったら

教師

多様な子供が  
共に学ぶ授業で



目指すのは、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校を問わず、  
どの学びの場、どの教科、誰でも実践できる授業づくり

共通の目的で  
つながれたら...

自らの学びを  
進められる  
環境があったら...

仮説

誰もが共に生き生きと学べるのかもしれない!!

手立て①

共通の目的でつながり、  
目的意識をもち続けながら  
学ぶことができる単元構成

手立て②

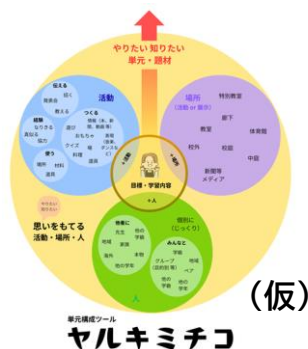
自分に合った学び方で自ら学びを  
進めることができる環境構成

単元構成ツール「ヤルキミチコ」

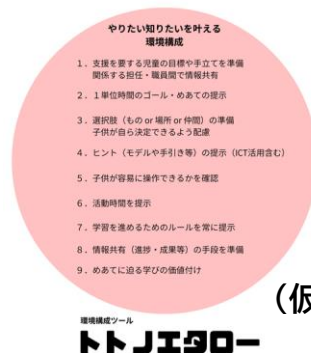
を使い、子供の「やりたい」「知りたい」を引き出す単元を構成を考えます。

環境構成ツール「トトノエタロー」

を使い、自らの学びを進めることが  
できる環境構成を考えます。



カスタマイズしたAIアシスタントを活用し、  
アイデアを得ることもできます。



誰もが共に生き生きと学ぶことができる学校

小学校の実践発表をします！

特別支援学校（知的障害）の実践発表をします♪

授業づくり体験コーナーで待ってます!!

